



[日時]: 2023年10/15(日) 13:00 ~ 関西大学ラグビーBリーグ 神戸大対大阪教育大戦

[場所]: @甲南大学六甲アイランドグラウンド (人工芝) 晴天

[戦績&概要]: 40分ハーフ。24-29 (前半 5-19, 後半19-10)

		神戸大	大教大
前半	T	5	15
	G	0	4
	P	0	0
	DG	0	0
計		5	19
後半	T	15	5
	G	4	2
	P	0	3
	DG	0	0
計		19	10
合計		24	29

S(スクラム), M(モール), KO(キックオフ), TK(タッチキック), BD(ブレークダウン), MB(マイボール), YB(ヤンボール), DT(ダイレクトタッチ), LO(ラインアウト), MBPK(マイボールハーフアルティキック), YBPK(ヤンボールハーフアルティキック), YBTK(ヤンボールタッチキック), MBTK(マイボールタッチキック), P(ハーフアルティ), DO(ドロップアウト), TF(スローフォワード), TO(ターンオーバー), NS(ノットストレート)

### ➤ 総評:

- 林選手の突進によるトライは特筆もの。各位彼の様な勝利への執念を見せて欲しい。
- キックアタックに低弾道で指向性のあるキックも交じり、バリエーションが増えた。更なる進化を。
- BKの一次ラインアタックは機能していた。FWがBDに素早く入り、ボールを確保し、2次アタックにつなげ、ゲインし、トライを取って欲しい。
- 両校先発メンバーのFW前5名の体重差は0kgであった。FW8人の体重差は▲21kgで平均体重差は▲2.4kgと拮抗。が、数度コラプシングの反則を取られる程セットスクラムが押された。神戸大のS技術とパワーが大教大に劣っていた。ほぼ同じ体格の国公立大にスクラムを押し負けるのは実に悔しい。セットスクラムで負けない事はラグビーの基本。
- 弱いセットスクラムをLOで補い、LOで得点出来る様、LOを得点源にする事。
- KOに工夫を。大教大はKO時に10mギリギリ近場に蹴り、神戸大より先にボールに触りマイボール化するKOを見せていた。神戸大もKOでマイボール化プレーの選択肢を。
- 大教大はリザーブ1名、全員で16名。一方神戸大は22名。何故勝てぬ？
- ここぞと言う時のノックが多かった。ノックは相手ボールスクラムでプレー再開に。スクラムが弱い神戸大には極めて不利に。ノックしないパスを出し、しっかりキャッチを心がける事。
- タックルされたら攻めるのは当たり前ではない。任せ、踏ん張れ、倒れるな。
- BDを乗り越えられTOされる事があった。当たり前負けず、素早くBDからボールを出す事。
- RWC2023で南アは準々決勝も準決勝も1点差勝利。勝利への執念を<sup>1</sup>

10/15/23			
	神戸大	大教大	体重差
FW 3人	279Kg	272kg	▲2kg
5人	446kg	446kg	0kg
8人	676kg	697kg	▲21kg
平均体重	84.5kg	87.1kg	▲2.4kg
最大体重	100 kg	94kg	
平均身長	172.1cm	175.4cm	▲2.3cm
最高身長	178 cm	183cm	